

タイブレークの記録の仕方

(無死走者1・2塁の状態から行い、打順は継続打順とする。)

【記入例】

打順	12	13	14	15
1		III 4-3	II TR	6-4B TR
2	I 4		I	
3	II K		II	6-4B
4	I 6	(6) TR		
5	II K	(9) TR	(6) TR	
6		I 0-3		
7		II K		
8		I B		
9		II TR		
	12回同点。 球数110	得点4、自責2 球数124 打数3、打点4	得点0、自責0 球数127、併殺1 打数2、残塁1	

この打者からタイブレークを開始した。継続打順で行う。
この打者には代打が認められる。走者には代走が認められる。

走者の表記の仕方はTR。

※タイブレーク適用開始イニング左に太線記入。

【公式記録の取り扱い】

1、投手成績に関すること

①規定により出塁した2走者は、投手の自責点とはしない。

②完全試合は認めない。

③無安打無失点試合は認める。

※タイブレークに入って走者を一人も出さなくても完全試合にならない。

※タイブレーク開始後、15回を終了し決着していない場合はそのまま試合を続行する。ただし、一人の投手が登板できるイニング数については15イニング以内を限度とする。

※投球数は、前のイニングから投げ続けている場合、累計に加算していく。

2、打撃成績に関すること

①規定により出塁した2走者の出塁記録はないものとする。ただし、「盗塁」「盗塁刺」「得点」「残塁」などは記録する。

②規定により出塁した2走者を絡めた「打点」「併殺打」などは全て記録する。

3、その他

①規定により出塁した2走者、打者には代走・代打が認められる。

②タイブレークに入り、降雨等でやむなく試合続行ができなくなった場合は、引き分け再試合とする。

③規定により出塁した2走者の出塁記録がないことから、従来のスコア検査式はタイブレークにおいては適用できない。